

Eメンバーからの意見④(7月23日現在提出分)

平成22年7月29日 公共施設再配置計画担当作成

I 前回までの委員会の討議内容に対する意見

No. 1 男性 49歳

1. 提言書からの意見

個々の具体的な意見につきましては既に何回か述べておりますので、全体的なことについて申し述べたいと思います。

まず提言書の副題が、“ハコに頼らない新しい公共サービスを”となっています。

パッと見た感じでは、「ハード中心の公共サービスからの脱却を目指します」というように捉えられて、ともすると、“ソフト面での公共サービスに期待して下さい”という印象を持ってしまいます。

ですがこの提言書は（当然ですが）そういう面での展望を描く趣旨での作成ではないため、分からない人には誤解を招く副題ではないかな、という気がします。

これからも、ハコに頼る公共サービスは存在し、「集中と選択」によってハコの優劣を決めて選別しましょう、というのが目的かと思えますので、“ハコに頼らない”というよりも、“秦野の将来を見据えた「ハコモノのあり方」を考える”というニュアンスの方がしっくりくるような気がします。

6ページの「再配置の必要性」の中で、5つの理由を掲げていますが、5番目の「地域住民等との協働・連携」については非常に漠然とした感じがします。

しかも、再配置の必要性に対する理由というよりも、記述内容から「理想的な方向」というような印象を受けます。

2. フローチャートについて

提言書やダイジェスト版共通に言えるのですが、ひと目で分かるフローチャートのようなものがあれば、アウトラインがよく分かると思います。

参考までに別添で作成してみましたが、例えば提言書にしても冒頭にこういうチャート図があって、各内容については、適宜“詳細は提言書〇ページ参照”というような注意書きがあれば、非常に親切かと思えます。

